

〈東北・新潟の活性化応援プログラム〉 2017年助成団体活動成果レポート

助成団体

特定非営利
活動法人

白神自然学校一ツ森校

青森県西津軽郡鰺ヶ沢町

プロジェクト名

農林水産業を「白神山地の水」で繋ぎ 鰺ヶ沢町の価値を創造する

■地域の紹介

鰺ヶ沢町は北は日本海に臨み、南は世界自然遺産の白神山地を有し秋田県に接しています。江戸時代には津軽藩の御用港として栄え、海上交通で重要な役割を果たしていました。以来、津軽西部の政治・経済の中心地として歩み続けています。

■地域の課題

限界集落からの脱皮を図るために、白神山地に代表される地域の資源をいかに活用するかが大きな課題となっています。

■当団体の紹介

2003年に地元の山好きなスタッフが中心となってスタートし、山・川・海の自然を創造的に活用した体験活動を実施。具体的には、「白神山地の水」で育った地元の産物（農作物・魚類・酒粕）を活用した新商品を開発し、若者の雇用の創出と地域の活性化に取り組んでいます。





プロジェクトの概要

■背景・目的は？

太古の昔、縄文時代から人の手が入っていなかった白神山地は、17世紀後半から木材生産・薪炭・銅鉛鉱山などの活用がされてきました。民俗学の祖と言われる菅江真澄は、白神山地まで出かけ、この地を薬草の宝庫だと述べたとされています。

現在は世界遺産として、多くの人々が訪れていますが、単なる観光資源ではなく、隣接町村の一つである鱒ヶ沢町の一ツ森地区は、「白神の水」が大事な地域資源となっています。その山・川・海の循環型環境を活かした暮らしが、この地区の農林水産業を持続可能なものへと結びつける事で、限界集落からの脱皮を図りたいと考えています。

■具体的な活動は？

2017年(平成29年)の4月に、合同会社白神アロマ研究所を開設し、7月にはNPO白神自然学校内の厨房施設の改修工事を行い、この地域で採れる金鮎を加工した「鮎の釜めし」「鮎の甘露煮」「イトウの加工製品」「白神の漬物」シリーズを開発しました。

特に白神アロマは、オオバクロモジ・スギ・ヒバ・ニオイコブシの環の精油作りを進めています。また、ルームスプレー・入浴剤・芳香剤をつくったり、残渣液で草木染めも実施しています。首都圏でお披露目会(30名)を2年間実施しました。また、蒸留体験ツアーを実施し、2017年(平成29年)14名、2018年(平成30年)10名が参加し、首都圏にもサポーターが広がっています。

- 農家レストランの売上アップ
- アロマ研究所が連携したクロモジの蒸留体験ツアー
- 白神アロマの販路の拡大
- 山・川・海の資源を利用した加工食品づくりを現在進めている。



金鮎の釜めし



白神蒸留体験ツアーの参加者



白神蒸留体験ツアーでクロモジを採取



白神アロマのセミナー(東京銀座)



白神アロマシリーズ



草木染め教室



草木染め体験



白神産地の漬物(白菜漬・さきいか入り)

■活動の成果は？

一番は、交流人口が増えたという事です。

特に、今までは、白神山地(くろくまの滝)への観光客や鮎釣り客が通過するだけの地区でしたが、今は、農家レストランでの食事や、蒸留体験ツアー、草木染めの体験など、山好きの方だけではなく、一般の方も自然学校を利用しています。また、鱒ヶ沢町に住んでいる人でも、初めて一ツ森の学校に来たけど、こういう事をやっているのが驚いたという方ができています。

その為に、白神自然学校で働いている、おばちゃん達はとても忙しく、他の地区の同世代の婦人会の人達からは、一ツ森地区のおばちゃん達は、元気がいいと言われています。昨年には農林水産省の、ディスカバー農山漁村(むら)の宝という賞も頂き、地区に外国人も含めて、多くの人を訪れるようになり、活気がでてきた事が一番の効果だと思っています。

今回の助成金で、一つは合同会社白神アロマ研究所を立ち上げて、白神山地の山から採取したオオバクロモジ・スギ・ヒバで環の精油シリーズをつくりました。

一つは、金鮎・イトウを加工して、農家レストランで提供する食事メニューを充実しました。

一つは、山・川・海から捕れる山菜・魚を使い、「白神の漬物シリーズ」をつくりました。(10品目)これらの事業化を通して、以下の成果があがりました。

1. 交流人口が増えた。
2. 収入アップにつなげる事ができた。
3. 雇用環境アップにつなげる事ができた。

団体からのコメント

課題とは言えるかどうかわかりませんが、すべてやる事なす事初めての事で、必死でやってきたというのが感想です。何事も目の前にでてきた「壁」を「壁」と思わないで、諦めないで、どうしたらいいかと考えた結果、いい知恵がでてきて突破できたと思います。

ただ、やはり、豊富に資金力があるわけではないので、仕込みをする時の経費と、在庫、販売の収入がまだ、とんとんという事で、儲けになるまでもう少し時間がかかりますが、お披露目会を通して、ブランド化が進めばよいのかと思って、あちこちにPRしています。また、こういう斬新的な取り組みに、若い女性が加わってきてくれました。今は収入は少ないですが、いつまでもそういうわけにいかないなので、売り上げが伸びるようにしていき、若い人達につなげたいです。

